

## 令和7年度自己評価及び学校関係者評価書

## 1 本年度の学校評価をふりかえって

秋商キャリア教育をもとに、日々の授業を大切に、ビジネス実践や外部講師などを活用して、社会人基礎力を身に付けさせ、主体的に物事を考えさせる取り組みをしている。

教職員は、一人一人が高い意識を持ち、学校全体として組織的な教育活動に取り組んでいる。今後も商業高校の教育の特色を活かし、秋田県商業教育の中心校としてその役割を果たし、学校の発展に努めていきたい。

## 2 評価結果の概要

分野	評価項目	取り組み状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
本年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命を尊重する心や他者を思いやる広い心を培うとともに、挨拶や礼儀を重んじ、心身の鍛錬に励み、心身ともに健全で人間性豊かな生徒の育成に努める。</li> <li>・秋商キャリア教育の実践を通して、幅広い教養と確かな学力の向上を図り、自己の進路目標に真剣に取り組む生徒の育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上と資格取得に向けた積極的な取り組みを推進する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得のメリットや自己の進路への影響について伝える機会を設定する。</li> <li>・各分掌と連携をとりながら、人間性豊かな生徒の育成に引き続き取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車に乗る際ヘルメットの着用を生徒に義務づけてはどうか。</li> <li>・教員の長時間労働について、学校側の積極的な対策が必要ではないか。</li> </ul>
教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びの実践の推進と基礎学力の定着を図り、学力の向上を目指す。</li> <li>・学習指導要領改訂をふまえた評価方法の改善と新教育課程の円滑な実施を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用によって生徒の基礎学力が定着した。</li> <li>・新教育課程について検討する機会をもうけ、令和9年度入学生教育課程の具体案を作成することができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内規や評価システムを含めた学習評価の体系的な整備を引き続き進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学希望者が増えているが、奨学金を借りて進学することを安易に考えている家庭があるようだ。奨学金についての十分な説明が保護者にも必要と思われる。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路意識の早期確立を図り、学年や進路志望に応じた継続的な指導を行う。</li> <li>・主体的な進路決定のための進路情報の的確な収集と提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路通信の発行や、進路資料の新規購入、ガイダンス等を通して進学と就職の希望のニーズに対応することができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学希望者に対し、低学年から意識付けをする。</li> <li>・生徒の進路意識の確立のために保護者にも現在の進路状況を認識してもらう。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生らしい立ち居振る舞いや公共心を身に付けさせる。</li> <li>・登下校時の交通安全意識を徹底させる</li> <li>・いじめの早期発見とチームによる対応を心がける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なアンケートを実施することで、悩みを抱える生徒を早期に把握することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車に関する法律の改正を周知徹底させる。</li> <li>・SNSの使い方を含めた、校内外のルールやマナー、他者への配慮等の指導を継続する。</li> </ul>	
保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症拡大防止のための呼びかけを行う。</li> <li>・環境美化を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防教育と実効性のある対策を実施した。</li> <li>・長期休業前や各種行事の前に大清掃を実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症拡大防止のための呼びかけを継続して実施する。</li> </ul>	
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーを活用し、相談活動の体制を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの来校予定を周知し、カウンセリングが有効と思われる生徒には相談を勧めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他分掌との連携を強化し、生徒の事故防止やモラルの向上を図る。</li> </ul>	
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒参加による自主的・創造的な生徒会活動を支援する。</li> <li>・特色ある学校行事や部活動を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が中心となり、自主的・意欲的な活動ができた。</li> <li>・松倉文化祭に参加することで、文化部の活動を披露することができた。</li> <li>・多くの運動部がインターハイや選手権大会などの全国大会に出場した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が意欲的に取り組む学校行事を継続すると同時に、開催時期について検討する。</li> </ul>	

図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動を推進し、情報センターとしての図書館の機能を強化する。</li> <li>・図書委員会の活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の希望図書を受け入れ、職員による生徒向け推薦図書の選定も定期的に行うことができた。</li> <li>・図書委員や保育士希望者による読み聞かせボランティアを実施し、異年齢交流に結びつけた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や分掌との連携を強化し、生徒の進路について選択や実現に繋がるような図書の選定を引き続き行う。</li> <li>・より多くの生徒が読書に興味を持つよう、図書委員とともにクラス文庫の充実や「図書館だより」等の広報活動に力を入れる。</li> </ul>	
家庭地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報をホームページ等で発信し、地域や家庭との連携を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや、地域へ「秋商だより」を発行することで、学校の情報や生徒の活躍の様子を定期的に外部に発信することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が参観できる学校行事を検討する。</li> </ul>	